

追手門学院創立 120周年記念式典



校友会 山櫻会 副会長 藤村 敬

2008年11月7日(金) 大阪城ホール

13:30開式

金城のいらかは高く～大阪城を望む地に明治21年(1888年)高島鞆之助先生が“国家有為の人物の育成”を目指して大阪偕行社附属小学校として創立以来、追手門学院は本年(2008年)に創立120周年を迎えました。

前日からの雨も上がり大阪城の紅葉が鮮やかな～11月7日、大阪城ホールにて“追手門学院創立120周年記念式典”が開催されました。同時に懐かしい思い出がいっぱいの展示会“オール追手門展”も開催されました。

会場には大木理事長、鈴木学院長、津田小学校校長、南大手前中高校長、相馬中高校長、吉田幼稚園園長先生をはじめとする教職員の方々、現役生徒園児の皆様、保護者の皆様、そして卒業生の皆様などオール追手門関係者6,000人を超える追手門学院を支え、追手門学院を愛する人達が集う式典となりました。

卒業生である寺谷一紀氏と飯星景子氏の司会進行による式典のオープニングは、小学生、大手前中高生、大学生合同の“SOLDIERS”によるチャアーディング。小学生の愛らしい笑顔での演技～大学生の自信に満ちた笑顔での演技は、躍動感溢れる、そしてそれぞれの笑顔が印象的な華やかな幕開けとなりました。



そして鮮やかなレーザー光線と音楽を使った演出による祝120周年の舞～品格ある迫力溢れる“御祝儀舞 連獅子”、“絆”をテーマとした現代感覚で演出された日本の伝統文化“連獅子”の舞は、“絆”の大切さを視覚だけでなく新感覚で心に訴える感動の舞となりました。また日本の伝統文化と現代感覚を融合させた舞は、伝統文化の未来への継承方法のあり方を提示するものでもありました。

そして追手門学院の歴史をつくり良き伝統を継承し支えてきた物故者追悼の後、理事長、学院長、発祥校津田小学校校長先生の式辞、ご来賓の祝辞をいただきました。次に、追手門学院120周年記念映像“未来は私たちの手に”の上映、そして各界で活躍される卒業生～堺屋太一氏(小学校59期)、宮本輝氏(大学1期)、福留功男氏(大手前高校9期)、進藤晶子氏(幼稚園9期)によるアニバーサリーメッセージ、そして現役生徒園児による演奏演技～日本太鼓(小学校)、鼓隊(幼稚園)、中国武術(大学)、吹奏楽(大手前中高等学校、中高等学校、大学)と続きました。各界で活躍される卒業生による温かいアニバーサリーメッセージや現役生徒園児による訓練された素晴らしい演奏演技は、追手門学院120年の歴史の重み、良き伝統の継承、そして教育理念“独立自強・社会有為”の功績を改めて認識確認されるものとなりました。

そして120年の歴史伝統を基とし、2008年創立120周年を新たなる出発として、追手門学院将来計画“追手門ビジョン120”の発表。

